

# 日本民家園 花便り1月号(1)

## ～年越しをする花達～



### ツバキ 椿

正面入口ほか

室町時代から茶の湯の文化と共に品種が増え、江戸時代には徳川秀忠をはじめ権力者の庇護のもと、約 200 種もの園芸品種が生まれました。現在、世界に 6000 種以上あるツバキ品種の多くは、日本のツバキ属がもとになっているそうです。



### ニホンスイセン 日本水仙

原家裏ほか

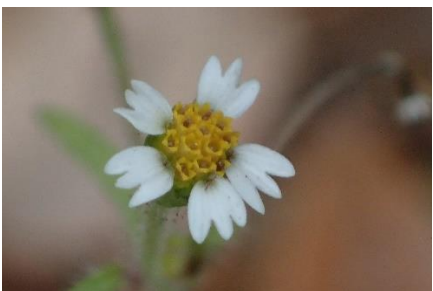
スイセンの学名「ナルシス Narcissus」の語源は、ナルシストと同じ語源、ギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスの名前です。ナルキッソスが死んだ所に咲いた花ということです。スイセンは花粉が不完全で種子ができず、球根で増えます。



### ヒメジョオン 姫女苑

井岡家ほか

ヒメジョオン(姫女苑)もハルシオン(春紫苑)もそれぞれ明治時代と大正時代に観賞用植物として日本に持ち込まれましたが、すぐに飽きられて雑草化。今では要注意外来生物に指定され、日本の侵略的外来種ワースト 100 の仲間入りです。



### ハキダメギク 掃溜菊

井岡家ほか

「ヘクノカスラ」と同様に、気の毒な名前の一つにあげられる植物ですが、英語名は「勇ましい戦士(gallant soldiers)」、花言葉は「不屈の精神」。このほうがぴったりの小さな頑張り屋さんです。



### ヤツテ 八手

太田家ほか

「天狗の羽団扇」の別名を持ち、日陰でも生育の良い常緑樹。かつては、蛆殺しに様々な植物が利用されましたが、ヤツテもその一つ。そのため目隠しをかねて、便所の汲み取り口の前に植えられることもありました。